

・災害に備える「3つの自助」

家具の固定 	3日分以上の水・食料備蓄  家族人数分 水: 1日1人3リットル	災害用伝言サービス体験  ダイヤル「171」、 災害用伝言板など
--	---	---

 +
**4人家族の場合、
最低7日分70～140枚**

・地区防災計画の作成

まち歩きで地区の特性（過去の災害）や避難経路（避難所）、地域のハザードマップを確認し、避難経路や避難所を確認しておきましょう。地域コミュニティにおいて、お互いに支援し合う、共助の活動内容について必要な事項を記載し、災害に備えましょう。地区防災計画ができるまで▶



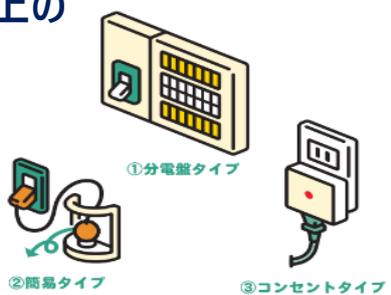
大地震には地域で備えましょう

自主防災組織のみなさまへ

令和6年1月1日には令和6年能登半島地震が発生し、石川県を中心に大きな被害をもたらしました。埼玉県でもいつ大地震が起きるかわかりません。

・感震ブレーカー

地震による火災の過半数は「電気」が原因です。設定値以上の地震を感知すると、自動的に電気を遮断してくれる感震ブレーカーがあれば安心です。



【参考】風水害

・風水害編（マイタイムライン）

台風などの風水害の際には、早めの準備と避難が重要です。マイ・タイムラインを作成し、避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めておきましょう。



・埼玉県防災学習センター「そな-え」 ※入館無料

災害を疑似体験することにより、地震時の行動、事前の準備や対応を学ぶことができます。
場 所：鴻巣市袋30 **休館日**：月曜（祝・休日の場合は翌日）、年末年始
開館時間：午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
連絡先：048-549-2313

お問合せ先 埼玉県危機管理防災部危機管理課 普及啓発担当
E-mail a3115-06@pref.saitama.lg.jp
連絡先 048-830-8148

各種マニュアルブックをご活用ください▶



コバトン&さいたまっちょ

